

水 煙 会

第 50 回 令和 2 年度

通常総会（中止）

日 時 令和元年 6 月 27 日（土）13：30～14：20

場 所 横浜中華街 「桂宮」 5 階大ホール

会議次第

1 議 案

第 1 号議案 令和元年度 事業報告に関する件

第 2 号議案 令和元年度 決算に関する件

2 報告事項

報告事項 1 令和 2 年度 事業計画について

報告事項 2 令和 2 年度 収支予算について

報告事項 3 令和 2 年度常任幹事について

（会則 第 9 条(3) 副会長、常任幹事及び会計幹事は、会長が指名する。）

3 その他

(1) 会報の発行について

(2) 名簿の発行について

(3) ホームページの運営について

(4) その他

1 会報発行事業

会報第49号の編集、印刷、郵送・配布を行った。・掲載記事数：32・印刷部数：3,100部
・配布数：郵送2,416部（内36部住所不明で返送）

2 会員名簿作成事業

会員からの名簿登録届等（会報に同封等）に基づき、名簿データの修正を行うとともに、学部入学生について、原則、卒業年次別から入学年次別編集への移行を行った。

また、Web上での会員本人による名簿データの登録・修正システムの構築を行った。

3 ホームページ事業

ニュース、会員へのお願い等の内容の充実を図った。

4 交流会等事業

全体交流会を、6月29日（土）通常総会後、横浜中華街の広東料理「桂宮」にて開催した。（参加者数：52名）

5 セミナー等事業

社会デザインフューチャーセッション（兼・水煙会）を、8月5・6日（月・火）横浜国立大学経済学部講義棟にて開催した。

講師：三淵 卓（東急電鉄）、坂田 裕貴（Handi House Project）、畔柳 知宏（ジミクロ）、宮田 雄二郎（宮田幸三設計事務所）、久山 幸成（クライン ダイサム アーキテクト）（敬称略）

6 会員活動支援事業

- (1) 在校生による新入生歓迎会の開催を支援した。
- (2) 在校生による卒業設計作品集の作成を支援した。

7 会員顕彰事業

優秀な卒業論文について、水煙会賞を授与した。また、吉原賞の授与を支援した。

8 母校との連携

名教自然会に参画し、他の学科の同窓会、校友会等との連携を行った。

9 会議

- (1) 通常総会を、6月29日（土）、横浜中華街の広東料理「桂宮」にて開催した。
- (2) 常任幹事会を1回開催した。
- (3) 会報グループ会議、全体交流会等幹事会議を開催した。

10 現在会員数（令和2年6月末現在）

正会員 4,960名 ・卒業生 約4,600名（郵送可能会員数2,380名）
・在校生 約360名（学部生約280名、修士約60名、博士約20名）
・特別会員

令和元年度 決算

貸借対照表
(令和2年3月31日現在)

(単位：円)

項目	当年度 (令和元年度)	前年度 (平成30年度)	増減	備考
I 資産の部				
1 流動資産				
現金預金	6,960,168	5,579,765	1,380,403	
流動資産合計	6,960,168	5,579,765	1,380,403	
2 固定資産				
(1) 特定資産				
退職給付引当資産	35,000	28,000	7,000	
特定資産合計	35,000	28,000	7,000	
(2) その他固定資産				
パソコン・電話機	0	8,495		
ソフトウェア	0	902		
その他固定資産合計	0	9,397	△ 9,397	
固定資産合計	35,000	37,397		
資産合計	6,995,168	5,617,162		
II 負債の部				
1 流動負債				
未払金	0	0	0	
流動負債合計	0	0	0	
2 固定負債				
退職給付引当金	35,000	28,000	7,000	
固定負債合計	35,000	28,000	7,000	
負債合計	35,000	28,000	7,000	
III 一般正味財産	6,960,168	5,589,162	1,371,006	
(うち特定資産への充当)	(0)	(0)	0	
正味財産合計	6,960,168	5,589,162	1,371,006	
負債及び一般正味財産合計	6,995,168	5,617,162	1,378,006	

預金・現金の明細				
ゆうちょ銀行通常貯金	401,335	1,414,594		
ゆうちょ銀行振替貯金	1,725,790	279,080		
ゆうちょ銀行定額貯金	3,000,000	1,500,000		
横浜銀行普通預金	1,844,957	2,350,384		
現金(出納表残高)	23,086	63,707		
合計	6,995,168	5,607,765		

正味財産増減計算書

(令和元年4月1日から令和2年3月31日まで)

(単位:円)

項目	当年度 (令和元年度)	前年度 (平成30年度)	備考
一般正味財産増減の部			
經常増減の部			
經常収益			
会費収入(通常年会費)	883,000	675,000	会費納入296名(内4年12名×千円)
(一括納入・65歳以上)	630,000	420,000	21名
(一括納入・1年生)	1,860,000	1,620,000	61名(1名重複納入で返金)
寄付金収入	223,500	157,300	32名
広告費収入	165,000	155,000	会報掲載(9社)
参加費収入	240,000	165,000	全体交流会参加費等
金利収入	31	32	ゆうちょ銀行、横浜銀行
雑収入	0	74,000	名簿冊子・CD代等
經常収益計	4,001,531	3,266,332	
經常費用			
印刷製本費	543,132	697,321	会報発行(409千円)、封筒(角2)・払込用紙印刷、 総会案内等印刷
通信運搬費	281,845	244,473	会報発送等、振替手数料
消耗品費	6,091	73,284	事務用品等
HP維持費	11,580	11,340	ホームページ維持費
会場借上げ費	3,720	8,240	常任幹事会の会場借り上げ費
諸謝金	100,000	50,000	セミナー講師謝金(講演会)
交流会等費	260,000	216,865	全体交流会、ホームिंगデーの費用
会員活動支援費	150,000	150,000	新入生歓迎会、卒業設計展
会員顕彰費	144,246	143,621	水煙会賞吉原賞等賞状代、賞品代、賞品修理代
会議費	12,423	13,280	常任幹事会等の会議費
旅費交通費	39,190	3,660	常任幹事会駐車場代
負担金	127,000	127,000	名教自然会負担金
人件費	825,410	851,930	事務局人件費
委託費	67,991	67,200	封入作業委託
退職給付費用	7,000	7,000	
原価償却費	9,397	36,157	パソコン・電話機・ソフトウェア:定額法
雑費	41,500	102,500	会員への返金等(大林組の会報48号広告費返却)
經常費用計	2,630,525	2,803,871	
当期經常増減額	1,371,006	462,461	
經常外増減の部			
当期經常外収益	0	0	
当期經常外費用	0	0	
当期經常外増減額	0	0	
当期一般正味財産増減額	1,371,006	462,461	
一般正味財産期首残高	5,589,162	5,126,701	
一般正味財産期末残高	6,960,168	5,589,162	

令和元年度 会計監査報告書

令和元年度 水煙会の会計監査にあたり、収入支出に伴う関係書類及び関係帳簿・関係証票等を慎重に審査した結果、いずれも正確かつ適正であることを認めます。

令和2年6月22日

水煙会

会計監事

村田 幸男



会計監事

尹 莊植



1 会報発行事業

- (1) 会報第 50 号の編集、印刷、郵送・配布を行う。
- (2) 会報第 50 号の、学生への直接配布を行う。

2 名簿作成・発行事業

- (1) 令和 2 年度版の水煙会全体名簿の発行を行う。編集において、会員間の交流連携を推進するため、学部入学生について、原則、入学期別による編集を行う。また、所属研究室、元の勤務先の登録を行う。
- (2) 特別会員名簿の作成、博士課程等の会員名簿の入学期別編集に努力する。
- (3) 会員自身による Web 登録、会報郵送に同封する名簿登録届等に基づき、適宜、名簿登録データの修正を行う。
- (4) 同期会活動を支援するため、各同期会名簿を作成しクラス幹事に配布する。また、クラス幹事間の期を超えた連携を図るため、幹事会名簿を作成し、各期幹事等へ配布する。さらに、水煙会名簿による研究室同窓会、勤務先同窓会等との連携について検討する。

3 ホームページ等事業

- (1) ホームページの掲載情報の充実に努力する。
- (2) メールによる会員への情報提供（メール短信事業）に努力する。

4 交流会等事業

新型コロナウイルス感染拡大の状況から、通常総会、全体交流会の開催は中止とする。

5 セミナー等事業

主に在校生を対象とした、セミナー、講演会、見学会等の開催を検討する。

6 会員活動支援事業

在校生における新入生歓迎会、卒業設計展等の開催を支援する。

7 会員顕彰事業

- (1) 優秀な卒業論文について、水煙会賞を授与する。また、吉原賞の授与を支援する。
- (2) 卒業生の社会的業績に対する顕彰等について、水煙会として広報等に努める。

8 母校との連携

- (1) 名教自然会に参加し、他の同窓会、校友会等との連携を図る。
- (2) 理工系創立 100 周年記念事業協賛基金に寄附をする。

理工系同窓会全体で 1600 万円とし、水煙会の分担金は 135 万円。(p.9 別紙参照)

9 会議

通常総会、常任幹事会その他水煙会の運営のために必要な会議を開催する。

令和2年度 予定正味財産増減計算書

(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位：円)

科目	令和2年度	備考
1 一般正味財産増減の部		
経常増減の部		
経常収益		
会費収入(通常年会費)	750,000	3,000円×250名、
(一括納入65歳以上)	300,000	30,000円×10名
(一括納入1年生)	1,620,000	30,000円×54名
寄付金収入	200,000	
広告費収入	150,000	会報掲載
参加費収入	0	
金利収入	30	
雑収入	0	
経常収益計	3,020,030	
経常費用		
印刷製本費	670,000	会報(400千円)、総会案内・払込取扱票・封筒等(150千円)
通信運搬費	300,000	会報発送(220千円)、振替手数料等
消耗品費	30,000	事務用品等
HP作成費	30,000	ホームページ維持費等
会場借上げ費	0	常任幹事会等の会場借上げ費
諸謝金	100,000	セミナー等講師謝金
交流会等費	0	全体交流会等(学生の方は水煙会事務局で負担)
会員活動支援費	150,000	新入生歓迎会、卒業設計展等
会員顕彰費	150,000	水煙会賞吉原賞等賞状代、賞品代、賞品修理代等
会議費	15,000	常任幹事会、各事業運営会議等
旅費交通費	10,000	会報・恩師探訪取材費、会議駐車場代等
負担金	1,500,000	名教自然会負担金、理工系100周年事業協賛基金(1350千円)
人件費	880,000	事務局人件費
委託費	90,000	会報発送封入作業委託
退職給付費用	7,000	
原価償却費	0	パソコン・電話機・ソフトウェア：定額法
雑費	4,270	会員への返金等
予備費	83,760	
経常費用計	4,020,030	
当期経常増減額	-1,000,000	
2 経常外増減の部		
経常外収益	0	
経常外費用	0	
当期経常外増減額	0	
当期一般正味財産増減額	0	
一般正味財産期首残高	6,960,168	
一般正味財産期末残高	5,610,168	

報告事項3 令和2年度常任幹事について

令和2年度 役員名簿（幹事を除く。）及び常任幹事の担当等

氏名	入学年	役員	担当等
飯塚 三郎	S29	常任幹事	
山本 次郎	S34	常任幹事	
飯島 昭治	S37	常任幹事	
田村 明弘	S39	常任幹事	
宇都宮 啓史	S45	会長	
小川 和敏	S45	副会長	
佐々山 茂	S45	常任幹事	
立石 幹雄	S45	常任幹事	
村田 幸男	S47	常任幹事	会計監事
大場 正晴	S48	副会長	
大原 一興	S52	常任幹事	
大野 敏	S55	副会長	
小泉 裕子	S58	常任幹事	会報グループリーダー
和多 治	S59	常任幹事	
河端 昌也	S62	常任幹事	名簿グループリーダー
菅野 裕子	S62	常任幹事	
小池 麻子	S63	常任幹事	事務局長
大久保 孝雄	H02	常任幹事	
吉田 聡	H03	常任幹事	HP グループリーダー
稲垣 景子	H04	常任幹事	
村田 夏来	H05	常任幹事	
藤原 徹平	H06	常任幹事	学内幹事、会報グループ
中村 洋祐	H07	常任幹事	
奥山 信治	H08	常任幹事	
木暮 大介	H11	常任幹事	
佐藤 和泰	H13	常任幹事	
尹 莊植	H14	常任幹事	会計監事

計27名

(水煙会会則 第9条(3) 副会長、常任幹事及び会計幹事は、会長が指名する。)

別紙

理工系創立100周年記念事業協賛基金分担金

同窓会	入学定員 (人)	率 (%)	分担金 (万円)
名教就美会	148	17.90	286
国大化学会(44.6%)	185	22.37	160
横浜三工会(55.4%)			198
水煙会	70	8.47	135
弘陵造船航空会	35	4.23	68
土木同窓会	48	5.80	93
横浜物理工学会	90	10.88	174
横浜電子情報工学会	160	19.35	310
名教自然会(個人会員)	91	11.00	176
合 計	827	100.00	1,600
【特記事項】			
1 寄付した同窓会名を整備箇所(西門等)に表記する。			
2 財源が確保できない場合は、3年間(2019~2021)の分割分担も可とする。			

水煙会 御中

拝啓 立秋の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度は、横浜国立大学理工系創立 100 周年記念事業基金にご寄附を頂戴いたしまして誠にありがとうございました。心からお礼申し上げます。

いただきましたご寄附は、理工系創立 100 周年記念事業の実施に活用させていただきます。

横浜国立大学理工系学部・大学院は、横浜国立大学の基本理念である「実践生」「先進性」「開放性」「国際性」を実現し、新たな 100 年の歴史の創造に向けた取り組みを行い、教育・研究の向上に努めてまいりますので、今後ともご支援ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

略儀ではございますが、とりいそぎ書中をもちましてお礼申し上げます。

敬具

令和 2 年 8 月 1 9 日

横浜国立大学理工系創立 100 周年記念事業実行委員会

実行委員長 梅澤 修 (工学研究院長)

副委員長・基金運営委員会委員長 眞田 一志 (理工学部長)



名教自然碑

令和02年 8月 6日

〒 240-0067
神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79番5号
都市イノベーション研究院建築学教室内
水煙会 御中

G2005000012
L2005900027

国立大学法人横浜国立大学
財務部財務課 債権係
045-339-3064

寄附金の領収について

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたびは、横浜国立大学にご寄附いただきまして誠にありがとうございました。

領収書を発行しましたのでお送りいたします。

今後ともご支援の程、どうぞよろしくお願い申し上げます。

寄 附 金 領 収 書

G2005000012
L2005900027

〒 240-0067
神奈川県横浜市保土ヶ谷区常盤台79番5号
都市イノベーション研究院建築学教室内
水煙会 御中

寄附金額

¥1,350,000 -

上記のとおり寄附金を受領しました。

令和02年 7月27日

国立大学法人横浜国立大学 出納責任者
横浜市保土ヶ谷区常盤台79-1



上記の金額は所得税法第78条第2項第2号及び法人税法第37条第3項第2号に基づき財務大臣が指定した寄附金(昭和40年4月30日大蔵省告示154号)に該当するものです。

- (注) 1. この寄附金は、所得税法上の寄附金控除の対象となる特定寄附金又は法人税法上の全額損金算入を認められる指定寄附金として財務大臣から認定されています。
2. 上記の措置を受けるために、確定申告に際して、この領収書が必要となりますので、相当期間大切に保管してください。